



取香の三番叟
(県指定無形民俗文化財)

成田の春に彩り添える 伝統芸能

無形民俗文化財

無形民俗文化財に指定されている春の行事が4月上旬、市内各地で行われました。4月3日には旧成田町の^{にょんこう}女人講の皆さんによる成田のおどり花見で華麗な踊りが、6日には取香の^{そばたか}側高神社で三番叟の舞が、7日には北羽鳥の香取神社で三匹獅子舞がそれぞれ奉納されました。地元の人たちによって継承された伝統芸能が成田の春に彩りを添えました。



成田のおどり花見(県指定無形民俗文化財)



北羽鳥の三匹獅子舞(市指定無形民俗文化財)



花開いたしだれ桜の前で舞を披露

目を奪う「花」と「華」の共演

公津しだれ桜ふれあいまつり

公津公民館で活動するサークルの発表をしだれ桜とともに楽しんでもらおうと「公津しだれ桜ふれあいまつり」が3月30日・31日の2日間にわたり開催されました。30日は、満開のしだれ桜を背景に華やかな日本舞踊やフラダンスなどが披露され観客を魅了。31日は、あいにくの雨のため室内会場での発表となりましたが、編み物・書道・写真などの作品展示、お囃子や手話ダンスの発表などが訪れた人の目を楽しませました。

真新しい校舎に迎えられて

公津の杜中学校入学式

4月に開校した「公津の杜中学校」の入学式が4月9日に行われました。保護者や在校生の拍手に迎えられて入場したのは、新しい制服に身を包んだ新入生181人。一人一人名前を呼ばれると、緊張しながらも大きな声で返事をしました。新入生は、これから始まる中学校生活に思いをはせていました。



期待と不安を胸に



美川憲一さんの登壇に、会場から大歓声が

地域のふれあいの場に

みどり祭り

入・通所者と地域の人たちとの交流を目的に4月6日、障害者支援施設しもふさ学園で「みどり祭り」が行われました。ステージでは、ダンス・空手が披露されたほか、市職員を中心としたメンバーによるバンド演奏や、美川憲一さんのコンサートなども。近隣の福祉施設などが出店した屋台コーナーでは、ラーメン・アイスクリーム・ポップコーンを味わえるなど、会場は終日、祭りの雰囲気を楽しむ多くの来場者でにぎわっていました。



試食を楽しむ旅行者ら

片手で気軽においしく

旅モバイルスイーツフェア

旅行者が片手で気軽に食べられる「ご当地スイーツ」をPRしようと、成田空港で3月30日、「旅モバイルスイーツフェア」が行われました。旅行者が手軽に食べやすい商品を「旅モバイルスイーツ」と命名。成田ソラあんばんを始めとして、成田空港と国内線で結ばれている地域を

中心に、北海道から九州まで22種類のご当地スイーツが出品され、出国前の乗客などに無料で配られました。空港ロビーで開催する初めての食品のイベントということもあり、会場は、若い女性を中心に、食べ比べを楽しむ大勢の人たちでにぎわいました。

積み上げたり並べたり

小さな平板を使ってみんなで遊ぼう

かまぼこ板のような積み木600枚を積み上げたり並べたりして遊ぶ「小さな平板を使ってみんなで遊ぼう」が4月3日、子ども館で行われました。初めに19人の子どもたちが4つのグループに分かれ、制限時間内に板を積み上げて高さを競争。積み上げる途中で崩れるたびに、相談しながら板を積み直していました。競争後に天井まで積み上げたグループもあり、メンバーは達成感に満ちた表情を浮かべていました。次はドミノ倒しに挑戦。長さ20メートルの廊下の端から端まで慎重に並べた平板が、最後の1枚まで倒れると子どもたちから歓声が上がりました。



天井まで届いたよ



最後の板まで倒れるか



3月に国内線で結ばれたばかりの大分県からも出品